

核兵器禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を

国民平和大行進・和歌山→広島コース 最終日
6月2日(水) 宣伝カーは、北山村、新宮市を走りました



中寫良範教育長



田岡実千年新宮市長

6月2日(水)曇りです。和歌山→広島コースは最終日となります。宣伝カーは、北山村と新宮市を走りました。宣伝カーは増田弘東牟婁原水協事務局長が運行、金田眞平和委員会、県事務局も同乗し、新宮市より1時間半程走り、北山村に到着。北山村では、山口村長不在で公民館前で職員数名と中寫良範教育長が宣伝カーを迎えてくれます。早速、公民館前駐車場で見送り式です。中寫教育長が「この運動は、核兵器の廃絶を願う多くの方が参加され、今年で63周年を迎える国民的行動であり、長きにわたってこの地道な運動に関わってこられた皆様に深く敬意を表します」との山口賢二村長のメッセージを代読されました。最後に県事務局よりお礼の挨拶をします。参加者の見送りをうけて、宣伝カーが走り出します。今年は奈良県、三重県との県境の在所まで宣伝カーで走りました。

午後5時、新宮市での見送り式です。見送り式前に、増田弘さんと県事務局で、秘書課と議会事務局を訪問。協賛金とペナントを頂きました。総務課には今年の「被爆者募金箱」を届けます。市庁舎前で見送り式は、増田弘東牟婁原水協事務局長が進行。まず、地元代表からの岸本芳明さんが挨拶します。新宮市からは、田岡美千年新宮市長が「世界各地には武力による紛争が未だ絶えず、いまなお地球上に人類を絶滅させるほど大量の核兵器が蓄積・配備されており、断じて許されるものではありません。こういった状況の中であって唯一の被爆国であるわが国の果たす役割は極めて重要であります。新宮市は昭和60年に非核宣言を決議しています。皆さまの平和行進を支持します」と激励の挨拶をされました。最後、県平和行進実行委員会事務局から「今年はコロナ禍2年目、各地域で知恵と工夫をし、宣伝カーを前に集会や見送り式、首長との懇談など、多彩に取り組んできました」とお礼を述べます。宣伝カーは参加者に見送られ、新宮市内へ走り出しました。

国民平和大行進和歌山→広島コースは、6月8日に三重県に引き継ぎます。ありがとうございました。

県事務局